

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 10 日

事務事業名		桜川市新型コロナウイルスワクチン接種事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	010201001070	
						単独/補助	補助			
政策体系上の位置付け								所属課	040401	
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進							健康推進課	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名		
	施策名	02 健康づくりの推進						グループ	管理	
	手段名	01 ①健康づくりの推進						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	04	01	02	03	00	新型コロナウイルスワクチン接種事業			
法令根拠		予防接種法				期間限定複数年 (令和 2 年度～ 令和 6 年度)		期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、早期終息のため、国や県のワクチン接種方針に基づき、地域の医療機関や高齢者施設等と連携し、新型コロナウイルスワクチン接種事業を進める。 新型コロナウイルスワクチン接種事業はR5年度末を持って特例臨時接種終了となる。新型コロナウイルスの接種は定期予防接種に位置づけられる。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・医療機関や高齢者施設等と連携し、接種体制の構築 ・接種開始にあたっての事務手続きや接種手続き準備作業 ・予防接種法等に基づき、新型コロナウイルスワクチン接種の実施

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・ワクチン接種業務にあたっての医師会等との調整会議の開催。	医師会等との調整会議	回	3.00	2.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
市民	桜川市人口	人	37,653.00	36,794.00	36,647.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
市民の感染拡大を予防する。 多くの市民にワクチン接種を行う。	市民のワクチン接種率	%	62.07	32.15	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	217,015	119,925	2,733			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	使用料・手数料	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	0	0	0			
	事業費計 (A)	217,015	119,925	2,733			
正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人			

05年度事業費 実績 (千円)

06年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)		06年度事業費 予算 (千円)	
	金額	項目	金額	項目
01 報酬	1,779		10 需用費	50
03 職員手当等	591		11 役務費	30
04 共済費	299		12 委託料	2,131
07 報償費	15		18 負担金補助及び交付金	522
08 旅費	24			
10 需用費	295			
11 役務費	2,833			
12 委託料	85,569			
13 使用料及び賃借料	8,932			
18 負担金補助及び交付金	19,588			
	合計	119,925	合計	2,733

(4) 当該年度の実施内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

08年度の事業内容

※年度ごとに事業内容を記入する	令和5年度末で特例臨時接種が終了となったため、ワクチン廃棄等の残務処理や令和5年度接種分の請求業務を行う。令和6年度の接種は定期接種となるため、予防接種業務において実施していく。		
-----------------	---	--	--

事務事業名	桜川市新型コロナウイルスワクチン接種事業	事務事業No.	10201001070	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図るため、令和3年2月17日から予防接種法に基づき開始					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
ワクチン接種事業の情報が欲しいといった意見等が寄せられている。 また、身近な医療機関で、接種が受けやすい体制や予約が取りやすい環境づくりについて要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民の健康確保
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 予防接種法に基づく事業である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 多くの市民にワクチン接種を行うことができれば、重症化予防につながる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 感染症の拡大につながり、重症者・死亡者が増える。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 予防接種事業)
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 特例臨時接種終了に伴い、新型コロナワクチンの接種は定期予防接種に位置づけられる。よって、統廃合が可能である。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は、基本的に対象経費は全額国庫補助であるが、現在、従来業務との兼務であることから人員増員や事業費増が必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民を対象とした事業である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	身近な医療機関で、接種を受けやすい体制を整備し、医療機関での個別接種を中心に接種を推進してきた。 高齢者施設等においては、施設内で集団接種を行えるよう、施設と連携し接種を進めた。 高齢者が予約を取りやすい体制をつくるため、窓口での予約を拡充した。																		
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 令和5年度末で特例臨時接種が終了となったため、令和5年度接種分を行う。令和6年度の接種は定期接種となるため、予防接種業務と統合し実施していく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	維持				低下			
成果	向上	コスト																		
		削減	維持	増加																
維持	維持																			
	低下																			
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑤																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 特例臨時接種終了に伴い、新型コロナワクチンの接種は定期予防接種に位置づけられるため、予防接種事業と統廃合可能である。